

南武線の輸送力増強は最重要課題

南武線の連続立体交差事業を優先すべき

Q. 三宅隆介 JR南武線の立体交差事業のⅢ期（溝口～矢野口）については整備実現が20年後30年後となることが予測されます。この区間の駅の改良は、どうなるのか？

A. まちづくり局長 中野島駅の臨時改札口の設置をJR東日本と協議中。久地駅、宿河原駅、稻田堤駅の改良についてはJR東日本に要望しています。

三宅隆介の視点

中野島第1号踏み切りの1日の歩行者数は、1万6025人、中野島駅の乗降人員は2万6974人、朝夕のラッシュ時は極めて危険です。中野島駅の臨時改札口の設置に向け、JRに対するねばり強い協議を求めます。

生活保護の設定に問題はないのか

Q. 三宅隆介 本市の市民所得は政令市の中では上から4番目なのに、生活保護率は17.5パーセント、市民所得が最も低い北九州市は13.1パーセントです。保護率が高いのは認定の段階に課題があるのでないでしょうか？

A. 健康福祉局長 生活保護担当職員は在職3年未満が154名75%から123名51%となり、第3者機関での検討をはじめます。

三宅隆介の視点

生活保護費は、社会保障の最終最後のセーフティネットです。本当に必要とされている方々がこのセーフティネットを受けられるようにすべきです。

歴史認識と人権

Q. 三宅隆介 本市の外国人登録では、台湾の方々の国籍表記は中華人民共和国です。当然、台湾国籍を主張する人もいます。そうした人々の人権はどうなりますか？ また、国と国との歴史認識が衝突した場合、双方の人権はどうなるのか？

A. 市民局長 国と国との歴史認識の違いは、外交上において調整、解決が図られるものと理解しています。

三宅隆介の視点

そもそも歴史問題は国内管轄権です。国連憲章にも他国の国内管轄権に干渉してはならないとうたわれています。国や民族が違う以上、共通の歴史認識など絶対にありえません。

平和教育とは

Q. 三宅隆介 現在行われている平和教育は武器の恐ろしさを教えていたるにすぎません。また、戦争は尊い命を奪うという点で間違いなく「悪」であります。人類の歴史には民族の解放、国土の防衛、さらには国の独立や主権を守るために勇敢に戦った誇りある歴史的戦争もありました。本市の平和教育は、こうした歴史的意義のあるものを含めすべての戦争を否定するものですか？

A. 市民局長 どのような理由であれ、国際紛争の解決手段としては避けなければなりません。

三宅隆介の視点

兵器の恐ろしさを教えるだけでは、何の意味をもなさない。国の独立や主権を維持することが、いかに大変で尊いものであるかを教えることが重要です。

また国家とは価値の体系です。例えば、日本という国家には2000年以上にわたって日々と積み重ねてきた歴史・文化・伝統といった価値があります。もちろん、その価値の中には誇りも含まれます。川崎市当局の姿勢はこうした価値を否定するものです。